

日本写真測量学会平成 28 年度秋季学術講演会 プログラム

開催日時：平成28年11月10日（木） 9時40分～18時20分
 18時45分～20時45分 懇親会 会場：福岡ガーデンパレス 参加費 5,000円(学生4,000円)
 11月11日（金） 9時30分～17時20分
 14時00分～15時00分 特別講演 「G 空間情報を用いた防災への取り組み」 三谷 泰浩 氏（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 教授）
 11月12日（土） 巡検 9時00分 西鉄イン福岡 出発 巡検見学地（予定）：福岡城跡地、太宰府天満宮、太宰府政庁跡、大野城跡、九州国立博物館 他（16：30頃福岡空港到着予定）
 巡検参加費：3,500円（バス代、昼食、入場料込み）

開催場所：都久志会館 4 階会議室（講演会場・展示会場） URL：http://tsukushi-kaikan.jp/
 〒810-8583 福岡市中央区天神 4 丁目8-10 電話：092-741-3335 FAX：092-781-2348
 参加費：会員 5,000円，非会員 7,000円，学生 3,500円(会員・非会員共)（いずれも論文集代含む）

第 1 日目 11月10日（木）

9：40-9：55

開会のあいさつ 会長 近津博文

第 1 会場（401・402会議室）			第 2 会場（403・404会議室）		
セッション A	写真測量	司会 杉山史典（朝日航洋）	セッション E	リモートセンシング（応用）	司会 赤塚 慎（高知工科大学）
10：00-10：20	A-1	異なる重複率のオペリークカメラ空中写真から作成した三次元モデルの比較及び検証 ○杉野恭平・中田隆司・滝川正則（アジア航測）	10：00-10：20	E-1	仙台湾沿岸域における震災に伴う森林パッチの連結性変化の定量的評価 ○平山英毅・富田瑞樹・原 慶太郎（東京情報大学）
10：20-10：40	A-2	カンパ着花調査における UAV 空撮技術活用の可能性 ○古家直行・倉本恵生（森林総合研究所）	10：20-10：40	E-2	ひまわり 8号 AHI 画像の幾何補正精度の年間変動 ○竹内 渉（東京大学）
10：40-11：00	A-3	ブータン国での UAV による都市三次元モデル作成に関する研究 ○中谷龍介・杉田明弘・杉本猛夫（パスコ）・その他 3名	10：40-11：00	E-3	デイナイトバンドによる漁火の検出モデルについて ○浅沼市男・山口 崇・朴 鐘杰（東京情報大学）・その他 2名
11：00-11：20	A-4	鉄道橋の検査記録管理における 3次元モデルと写真測量の応用 ○中澤明寛(西日本旅客鉄道)・清水智弘(ジェイアール西日本コンサルタンツ)・高橋康将(アジア航測)・その他 5名	11：00-11：20	E-4	ひまわり 8号冬季データの雲マスク作成 ○赤塚 慎(高知工科大学)・松岡真如(高知大学)・大吉 慶(宇宙航空研究開発機構)・その他 2名
11：20-11：30	休 憩				

11:30-12:40		ベンダーフォーラム 司会 中西芳彦 (国際航業)				
1. リーグルジャパン(株)「RIEGL UAV レーザースキャニングシステム最新動向」/ 2. 朝日航洋「UAVに関する取り組みについて」/ 3. 日本スペースイメージング(株)「JSIが取り扱う VRICON 製品のご紹介」/ 4. (株)トブコン「トブコン3D 計測商品のご紹介」/ 5. 国際航業(株)「国際航業における UAV 運航、3次元空間解析サービスのご紹介」/ 6. ライカジオシステムズ(株)「ライカの最新のセンサー及びソフトの紹介」/ 7. 日本インターグラフ(株)「Hexagon Geospatial が提供する最新のソフトウェア及びサービス」/ 8. (株)オーピーティー「写真計測ソフトウェアのご紹介」/ 9. (株)パスコ「新プロダクト Pasco Satellite Image のご紹介」他 (順不同)						
12:40-13:40		昼 食				
セッション B		MMS 司会 高橋元気 (国際航業)		セッション F		
セッション B		リモートセンシング (農業)		司会 朴 鐘杰 (東京情報大学)		
13:40-14:00	B-1	首都高速道路における MMS レーザ計測の精度検証 ○相本敬志・山口裕哉・鈴木清郎 (朝日航洋)・その他2名		13:40-14:00	F-1	合成開口レーダを用いた圃場の作物分類に関する研究 ○山谷祐貴(北海道大学)・蘭部 礼(静岡大学)・谷 宏(北海道大学)・その他4名
14:00-14:20	B-2	路面性状機能付き MMS の事例紹介 ○平井 智・松本直樹・佐藤秀人 (アジア航測)		14:00-14:20	F-2	高時間分解能衛星を活用した酪農業向け牧草地モニタリング ○福島あゆみ・前田佳子・鎌形哲稔 (国際航業)・その他4名
14:20-14:40	B-3	車載レーザ点群の反射強度情報を用いた道路標示の判定と図化に関する検討 ○高橋元気・武田浩志・中村和弘 (国際航業)		14:20-14:40	F-3	合成開口レーダを用いた小麦生育早晚マップの作成 ○谷 宏 (北海道大学)・野田 萌 (札幌市)・山谷祐貴 (北海道大学)・その他3名
14:40-15:00	B-4	MMS と C3D による陸上部および水中部の同時計測試験 ○小堀裕貴・畠 周平(アジア航測)・渡邊康司(アーク・ジオ・サポート)・その他1名		14:40-15:00	F-4	先進光学衛星搭載 RedEdge バンドによる水稲観測の有効性検討 ○石原光則(宇宙航空研究開発機構)・奈佐原顕郎(筑波大学)・田殿武雄(宇宙航空研究開発機構)
15:00-15:10		休 憩				
セッション C		SfM 司会 布施孝志 (東京大学)		セッション G		
セッション C		GIS		司会 高木方隆 (高知工科大学)		
15:10-15:30	C-1	Video/IMU による加速度情報のみを用いた SfM のスケール復元手法の開発 ○安齋翔次郎 (アジア航測)・小泉俊雄 (千葉工業大学)・川崎英明 (東京都港湾局)		15:10-15:30	G-1	オープンジオデータ活用推進を目的とした CKAN 機能拡張の取り組み ○高橋洋二・嘉山陽一・大伴真吾 (朝日航洋)・その他3名
15:30-15:50	C-2	非計測用カメラを用いた三次元形状復元ソフトウェアの再現性に関する評価 ○中野一也・鈴木英夫・民野孝臣 (朝日航洋)・その他1名		15:30-15:50	G-2	照明灯 GIS データ構築のためのモバイル端末を用いた現地調査手法の検証 ○緑川恵美子・丸山新太郎・嶋野雄一 (国際航業)
15:50-16:10	C-3	MORALS による UAV を用いた写真測量における異なる計測条件および SfM ソフトウェアによる精度評価に関する考察 ○梶原康司 (千葉大学)・佐野美可子・金 宗煥 (アジア航測)・その他16名		15:50-16:10	G-3	中等教育社会における地理情報システムの活用の基礎的研究 ○内山 匠・浅沼市男・原田恵理子 (東京情報大学)
16:10-16:30	C-4	SfM ソフトウェアの点群生成の条件検証 ○西村大助・名草一成・徳岡杜香 (国際航業)				
16:30-16:40		休 憩				
セッション D		レーザー (森林) 司会 今井靖晃 (国際航業)		セッション H		
セッション D		災害		司会 織田和夫 (アジア航測)		
16:40-17:00	D-1	三次元点群データを用いた全波形ライダーデータの再現に関する研究 ○岡本芽生・梶原康司・本多嘉明 (千葉大学)		16:40-17:00	H-1	累積流量を用いた土砂災害の予測に関する研究 ○友弘 匠・後藤真太郎 (立正大学)
17:00-17:20	D-2	三次元ボクセルモデルを用いたバイオマス量の推定 ○兼子暁介・高木方隆 (高知工科大学)		17:00-17:20	H-2	平成28年熊本地震での被災建物判読を目的としたブルーシート被覆建物の自動抽出 ○本田禎人・望月貫一郎・下村博之 (パスコ)
17:20-17:40	D-3	ボクセルモデルを用いた林床部における日射量推定 ○藤原 匠・高木方隆 (高知工科大学)		17:20-17:40	H-3	平成28年熊本地震における SfM を活用した初動対応の考察 ○山口由美子・本間亮平・池田辰也 (アジア航測)・その他1名
17:40-18:00	D-4	主成分分析による樹幹部の点群データの分類についての検討 ○北林 拓・大野勝正・野中秀樹 (アジア航測)		17:40-18:00	H-4	オブジェクトベースによる地震被災建物の判別 ○朴 鐘杰・浅沼市男 (東京情報大学)・郭 榮珠 (土木研究所)
				18:00-18:20	H-5	電子基準点データに見る熊本地震の地殻変動 ○村井俊治 (地震科学探査機構)
18:20-18:45		移 動				
18:45-20:45		懇親会 会場：福岡ガーデンパレス 会費：5,000円 (学生 4,000円)				

第2日目 11月11日(金)

第1会場(401・402会議室)			第2会場(403・404会議室)		
セッションI	画像処理	司会 大野勝正(アジア航測)	セッションL	リモートセンシング(環境・災害)	司会 藺部 礼(静岡大学)
9:30-9:50	I-1	旧版地形図における地図記号の自動認識 ○大倉 堯・布施孝志(東京大学)	9:30-9:50	L-1	Characterization of Urban Heat Island (UHI) Changes from MODIS Times Series Using Principal Component Analysis (PCA): Case of Dar es salaam City Tanzania ○Kamara Emanuel GOMBE・浅沼市男・朴 鍾杰(東京情報大学)
9:50-10:10	I-2	Deep Learning を用いた高分解能衛星画像からの駐車車両の台数推定 ○根本佳介・藤田藍斗・今泉友之(パスコ)・その他1名	9:50-10:10	L-2	広域洪水マッピングと氾濫水位の時・空間的変化分析 ○郭 榮珠・岩見洋一(土木研究所)・朴 鍾杰(東京情報大学)
10:10-10:30	I-3	高度撮影画像を用いた市街地における物体認識手法の適用可能性の検証 ○神谷啓太・布施孝志・泉 裕一郎(東京大学)	10:10-10:30	L-3	時系列衛星データを用いた東日本大震災による被災農地復旧履歴把握手法の検討 ○坂田健太・力丸 厚(長岡技術科学大学)・佐藤由佳(能美防災)・その他1名
10:30-10:50	I-4	マルチスケール画像領域分割手法における最適処理パラメータの自動選択 ○坂元光輝・佐藤俊明(パスコ)	10:30-10:50	L-4	日本水田地図「関東」の作成:水指数と植生指数による図化 ○岡本勝男・坂本利弘・石塚直樹(農業環境変動研究センター)・その他1名
10:50-11:10	I-5	高分解能衛星により得られたマルチスペクトル画像中のエッジの平滑化 ○細村 宰(東京電機大学)	10:50-11:10	L-5	中国西部乾燥地帯におけるオアシス動態把握に向けた取り組み ○藺部 礼・松田祐輝・王 権(静岡大学)
11:10-11:20	休 憩				
セッションJ	レーザー(計測)	司会 中埜貴元(国土地理院)	セッションM	リモートセンシング(植生)	司会 郭 榮珠(土木研究所)
11:20-11:40	J-1	航空レーザー測深機(ALB)計測で使用する2波長の精度検証 ○池間仁子・藤田温斗・大鋸朋生(アジア航測)	11:20-11:40	M-1	GCOM-C/SGLI プロダクトに向けたBRDFモデルを用いた陸域アルベドの推定アルゴリズムの検証 ○宮垣亮汰・須崎純一・栗木 周(京都大学)
11:40-12:00	J-2	航空レーザー測深(ALB)による河川等の計測事例紹介 ○實村昂士・金田真一(アジア航測)	11:40-12:00	M-2	MODIS データを用いた気候帯による植生分類手法の検討 ○金 榮煥・朴 鍾杰・浅沼市男(東京情報大学)・その他1名
12:00-12:20	J-3	マハラノビス距離及び最小二乗法による地表面フィルタリング ○友光純一・野中秀樹(アジア航測)	12:00-12:20	M-3	IMPACT OF CLIMATE CHANGE ON FORET CLASEE DE LA MONDAH (GABON) USING REMOTELY SENSED INFORMATION ○Mariano MBOUMBA・浅沼市男・原 慶太郎(東京情報大学)・その他2名
12:20-12:40	J-4	地上LiDARデータを対象とした欠損に頑健な精密位置合わせ手法の開発 ○出口翔理・須崎純一(京都大学)	12:20-12:40	M-4	分光反射特性を用いたRubiscoの評価 ○藺部 礼・片畑伸一郎・王 権(静岡大学)・その他2名
12:40-13:00	J-5	UAV空撮による点群データと航空レーザー計測データとの比較 ○大野勝正(アジア航測)・加治佐 剛・寺岡行雄(鹿児島大学)	12:40-13:00	M-5	異なるMODIS期間合成データを用いた植生現況図の作成 ○長谷川大輔・原田一平・浅沼市男(東京情報大学)・その他3名
13:00-14:00	昼 食				
14:00-15:00	特別講演	司会 望月貫一郎(パスコ)			
	題目 「G空間情報を用いた防災への取り組み」 講師 三谷泰浩 氏(九州大学大学院工学研究院付属アジア防災研究センター 教授)				
15:00-15:20	休 憩				
セッションK	レーザー(応用)	司会 露木順一(日本大学)	セッションN	SAR	司会 浅沼市男(東京情報大学)
15:20-15:40	K-1	3DTINモデル解析による道路モデルの整形 ○佐々木 光・チャタクリ スパス・佐藤俊明(パスコ)	15:20-15:40	N-1	差分干渉SAR解析を用いた地盤沈下に伴う建造物の抜け上がり検知手法の開発 ○丸尾尚之・須崎純一・岸田 潔(京都大学)・その他1名
15:40-16:00	K-2	林内3次元点群を用いた樹木形状の抽出に関する研究 ○田中貴大・梶原康司・本多嘉明(千葉大学)	15:40-16:00	N-2	DInSARによる地盤変動推定精度の向上を目的とした可降水量推定 ○前田直也・須崎純一(京都大学)・赤塚 慎(高知工科大学)
16:00-16:20	K-3	大型除草機搭載型レーザーキャナを用いた河川堤防計測システムの改良について ○杉山史典・鈴木 清・民野孝臣(朝日航洋)・その他2名	16:00-16:20	N-3	時系列変化に着目した地物分類処理の多時期ALOS-2/PALSAR-2データへの適用 ○中川雅史・馬場颯矢(芝浦工業大学)
16:20-16:40	K-4	山地部航空レーザー測量成果による露岩・転石等抽出 ○間野耕司・チャタクリ スパス・橘 菊生(パスコ)・その他1名	16:20-16:40	N-4	次世代航空機搭載合成開口レーダの地表面変化抽出技術に関する検討 ○児島正一郎(情報通信研究機構)
16:40-17:00	K-5	航空レーザー計測の活用による地域文化資源の発掘 ○露木順一(日本大学)・笠 けやき(中日本航空)	16:40-17:00	N-5	Pi-SAR-L2データによる高土壌水分地域の抽出に関する検討 ○中埜貴元(国土地理院)
17:00-17:20	閉会のあいさつ 副会長 清水英範				

都久志会館のご案内



【天神駅までのアクセス】

福岡空港から

福岡空港駅から 福岡市地下鉄空港線 で 地下鉄天神駅まで約 11 分

JR博多駅から

博多駅から 福岡市地下鉄空港線 で 地下鉄天神駅まで約 6 分

【都久志会館へのアクセス】

電車でお越しの場合

地下鉄天神駅 12 番出口より 徒歩約 7 分

西鉄福岡駅より 徒歩約 10 分

バスでお越しの場合

バス停天神中央郵便局前より 徒歩約 3 分

西鉄天神高速バスターミナルより 徒歩約 10 分

お車でお越しの場合

天神北 IC、築港 IC より 約 5 分

駐車場のご案内

駐車場・駐輪場はございません。お車は提携駐車場、および近くの有料駐車場をご利用ください。なお、都久志会館周辺の歩道は自転車放置禁止区域です。自転車・バイクはお近くの有料駐輪場をご利用ください。